

水の恵みカードNo. 80

カード名	あぶくまがわじょうりゅう せきひらちく 阿武隈川上流（関平地区）のはとむぎ
都道府県	福島県
市町村	西白河郡泉崎村
水の恵み施設	あなげきとうしゅこう 穴堰頭首工
所在地	福島県白河市本沼芦ノ口前

福島
ハトムギ
イネ科ジューズマ属

あぶくまがわじょうりゅう せきひらちく

**阿武隈川上流（関平地区）のはとむぎ**

福島県西白河郡泉崎村



**【ポイント解説】**

泉崎村では、昭和55年から遊休農地の活用や水田の転作作物として、湿地でも栽培が可能なハトムギ栽培を推進し産地化を図ってきました。

ハトムギは、栄養価が高く、良質なアミノ酸・ミネラルを多く含み、新陳代謝を活発にするため、昔からイボ取りや肌荒れに効く漢方薬「ヨクイニン」としても用いられています。

JA夢みなみでは管内で栽培されたハトムギを原料に「はとむぎ茶」、「はとむぎ入りせんべい」などの加工品に加え、オリジナル自然派化粧品「はとむぎ美顔」シリーズの化粧水・乳液など、ハトムギの機能を活かした魅力ある商品を開発・販売しています。

詳しい情報は 農林水産省の水の恵み 検索

阿武隈川上流地区管理体調整推進協議会 <https://nishigou-dam.org>

JA夢みなみ <https://www.ja-yumeminami.or.jp/>

Ver.1.0 (2022.03)

水の恵み施設
HW

あなげき とうしゅこう

**穴堰頭首工**



**【穴堰頭首工基本データ】 HW**

○形 式：コンクリート固定堰（フィックスドタイプ）

○堰 長：194.75m

○完 成：1971年

**きっかけ**

古くは阿武隈川を木柵でせき止めて水を引いていましたが、度々洪水に見舞われ流失していました。しかし、昭和24年にコンクリート堰と巻上式水門に改修され、さらに昭和46年度に県営災害復旧事業により現在の堰首工が整備されたことで、泉崎村関和久・北平山地区の水田約450haへの安定したかんがい用水の供給が可能となりました。

穴堰の名称は、元禄15年（1702年）に關和久村の庄屋が芦ノ口前の岩石に穴を切通して用水を取り入れたことに由来しています。

**一口メモ**

穴堰の下流、阿武隈川の両岸には歌枕に詠まれる「人懐かしの山」「人忘れずの山」とが向かい合い、左岸には奈良・平安時代の国の軍事行政の後所跡、右岸には法隆寺式伽藍配置を有する同時代の寺院跡があり（国指定史跡「白河官衙遺跡群」）陸奥国府と都との行路として栄え、発展していたことを窺い知ることができます。

カード配布場所	配布場所の住所	配布日時	ホームページURL
穴堰水系土地改良区	福島県西白河郡泉崎村大字関和久字愛敬山1-1	8:30~17:00（定休日：土日祝祭日） 年末年始は配布していません。	
泉崎農産物直売所 はにわの里	福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字山崎30-22	10:00 ~ 18:00 (年中無休)	<a href="https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/page/page001084.html">https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/page/page001084.html</a>